

坂井市立丸岡南中学校2年生職場体験

マツウラは地域社会への貢献として中学生の職場体験を受け入れています。6月5日(火)～7日(木)の3日間、坂井市立丸岡南中学2年生2名の職場体験を実施しました。受け入れた生徒さんは石田蒼透君、岩崎勇陽君です。

体験業務は、物流倉庫の入庫作業を行い、様々な部品の受け入れ、また指定された棚へ設置を経験しました。初めての経験にも関わらず、1度の説明でてきぱきと作業をしていた様子が印象的でありました。彼らの飲み込みの早さと手際の良さには驚かされました。参加して頂いたお二人ともモノづくりに興味があるとのことでしたので、この体験をきっかけに将来は福井でモノづくりに関わって頂ければと思います。

職場体験に参加頂いたお二人から感想が届きましたので、一部掲載致します。



▲職場体験に参加した石田君(左)と岩崎君(右)

職場体験後の感想

- ・福井から世界に向けて多くの機械を売っている松浦機械製作所で職場体験が出来て、とても貴重な経験をすることができました。特に印象に残っているのは、金属3Dプリンタです。金属3Dプリンタで作った物はとても精密で驚きました。
- ・仕事は想像を超える大変さでしたが、周囲の方に声を掛けられたり、褒められたりして元気が出ました。仕事をしていてわからないこともありましたが、職場体験は最高の3日間でした。本当にありがとうございました。

シングルorダブル



社長 松浦 勝俊

サッカーワールドカップは、ドイツにて原稿執筆時点で、フランスとクロアチアの決勝となりました。日本も開幕当初は、それほど期待値も高くなかったのですが、決勝トーナメントへ進出し優勝候補の一角であったベルギーを追い詰めて大いに盛り上がりました。この戦い振りにはマスコミの報道だけでなく、海外出張時欧州のどの国の人からも日本の戦い振りはとても素晴らしかったと賛辞を贈られました。傑出した有名選手もおらず期待値も高くないチームが、高度な戦術とチームワークでサプライズを起こしたことに対する賛辞だと思います。予選リーグの突破の仕方には、消極的過ぎると議論がありましたが、思い返せばドーハの悲劇から今日まで、日本サッカーは、試行錯誤を繰り返しながらも成長してきていると実感出来ます。

ほぼ同時期の7月初旬、西日本を中心に極めて広範囲に大雨が降り続き、多くの水害や土砂災害が

予想

発生しました。多くの方が犠牲になられたことにお悔やみ申し上げると共に、3万人以上の方が被災され避難所に身を寄せられたことにお見舞い申し上げます。早期の復旧をお祈り申し上げます。

「数十年に一度の、これまでに経験したことないような、重大な危機が差し迫った異常な状況にある」これが特別警報の定義だそうです。この特別警報が、テレビのニュースで繰り返される度に緊張感が増していきましたが、想像以上の凄まじい大雨に改めて自然の力を思い知らされました。弊社のある福井県も平成16年7月18日に集中豪雨に見舞われ福井市街地を流れる足羽川の堤防が決壊、多くの家屋が浸水しました。当時は未明から早朝にかけてごく短時間に一気に降り続いた為、警報、注意報の類があまり市民に周知される時間もないままに起きた災害でした。

予想を超えて起きることには良いことも悪いこともあります。予測や準備をする時間を与えられないこともあります。ビジネスでも同じようなことはありますが、やはりその時その時に最善を尽くすことしか出来ないのかもしれません。